



かんたん操作ガイド

発電リモコン編

ご使用前に取扱説明書の「安全のために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

詳しい内容については、取扱説明書をご確認ください。

各部の名称とはたらき

1 発電について

- 1 発電をする
- 2 発電を停止する

2 停電時自立発電について

- 1 停電時に電気を使う
- 2 発電電力を上げる
- 3 自動で停電に備える
- 4 手動で停電に備える
- 5 発電停止予定を変更する

3 無線 LAN 機能について

- 1 無線 LAN ルーターに接続する
- 2 停電時自立発電継続サポートを有効にする

4 給湯について

- 1 お湯を使う・お風呂を沸かす



型式	燃料電池ユニット	発電リモコン	熱源機	リモコン	
				台所リモコン	浴室リモコン
FCCS07C3NJ FCCS07C3PJ FCCS07C3NV FCCS07C3PV		FCHRRR4W	今お使いの熱源機	今お使いのリモコン	



発電リモコン



台所リモコン



浴室リモコン



燃料電池ユニット



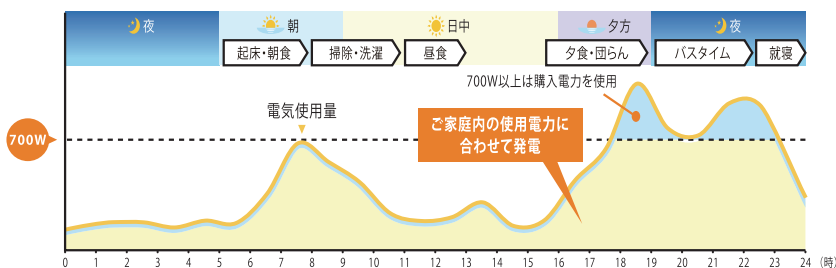
今お使いの熱源機

知っておきたいエネファーム type S の特性 (参考)

- 本商品は、ご家庭の電気使用量に合わせて 24 時間連続で発電し、発電時の熱はタンクにお湯として貯めます※1。
- タンクに貯めたお湯は、燃料電池ユニットのなかで水と混ぜ、約 20 ~ 30℃ 程度のぬるま湯の形で熱源機に給水します。
- 給湯設定温度に対する湯温の不足については、熱源機の燃焼により補います。

※1 タンクがお湯で満タンになると、ラジエータで放熱しながら発電を継続します。

■ 1 日の運転イメージ例 (実際の運転はご家庭ごとに異なります)



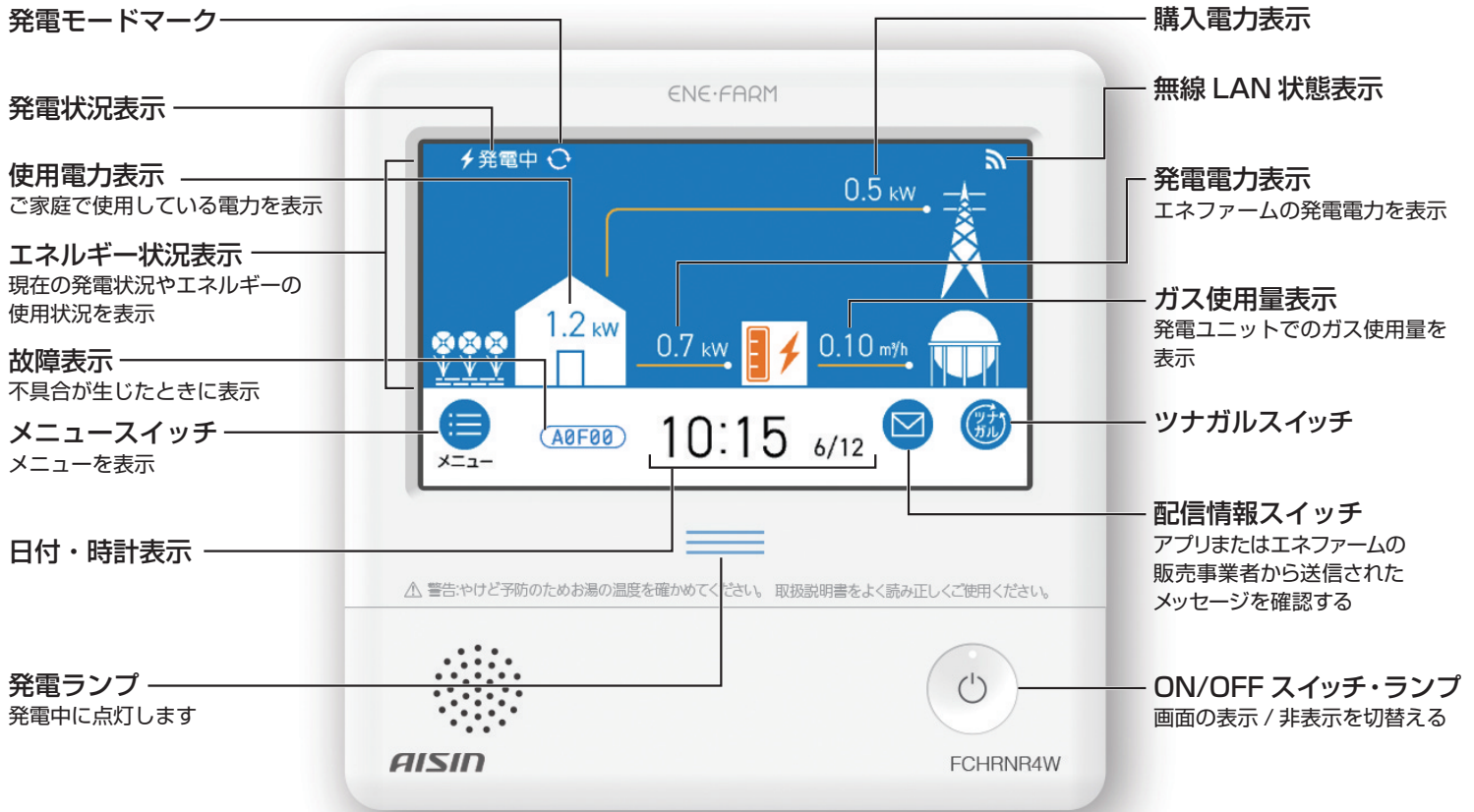
■ 発電サイクルについて

26日間連続して発電する毎に、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、24時間以上発電を停止します。



各部の名称とはたらき

発電リモコンについて（トップ画面）



発電状況表示の見方（主なもの）

表示	状態	表示	状態
⚡ (点灯)	発電しています	⚡ (点滅)	発電しています
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です	⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です
⚡↔⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です	停止中	発電停止の動作中です
(表示なし)	燃料電池ユニットは停止しています	(表示なし)	燃料電池ユニットは停止しています

発電モードマーク表示(主なもの)

発電中+**M** 1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。

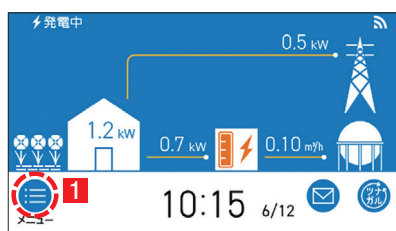
Mのみ ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、発電を停止しています。

表示	状態
⚡自立↔⚡自立 (交互表示)	停電時自立発電しています

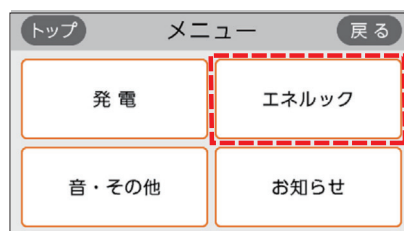
※電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。詳しくはリモコンの取扱説明書 P34 をご参照ください。

エネルックの見方

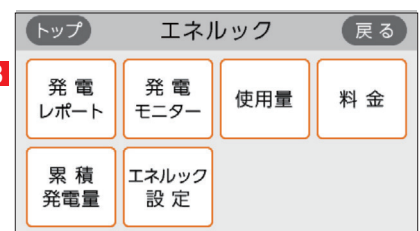
[エネルック]でも詳しい発電状況などの確認が可能です。詳しくは、取扱説明書をご確認ください



1 トップ画面で【メニュー】をタッチします。



2 【エネルック】をタッチします。



3 表示される項目をタッチして内容を確認します。

※機器の設置状態によって、確認できる内容が異なります。

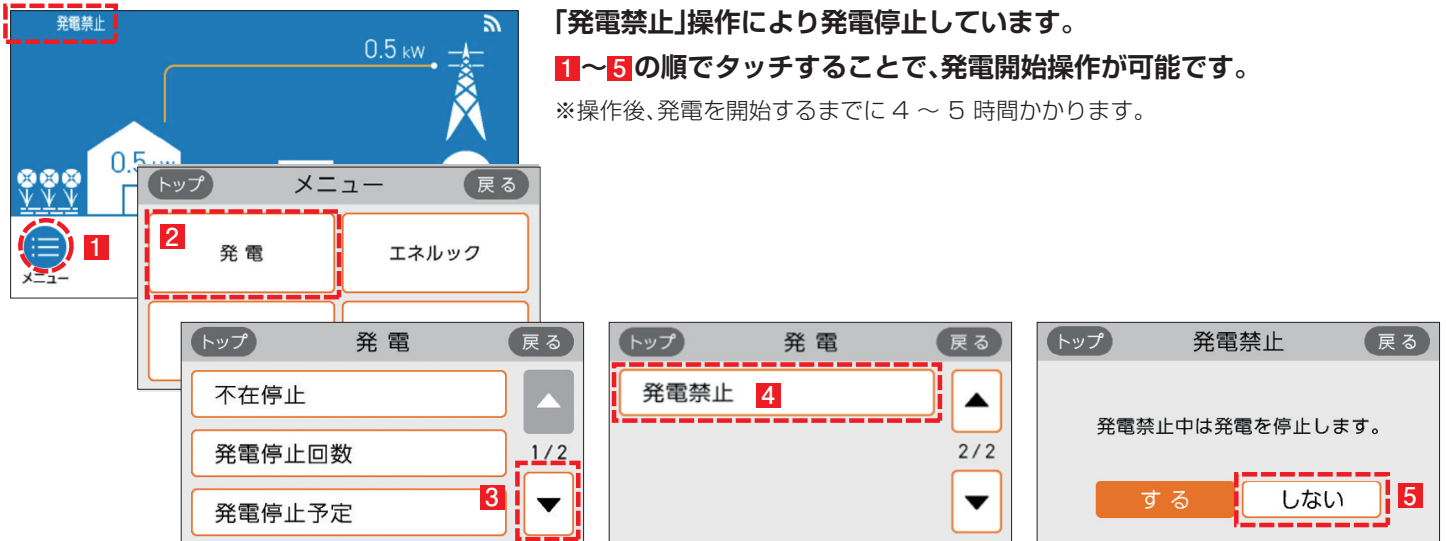
1 発電について

1 発電をする

リモコン画面の左上に「発電中」と表示されていない場合、エネファームは発電を行っていません。
リモコン画面表示に従って、発電開始操作を行います。

※リモコン画面左上に「発電×」と表示されている場合は、販売店、メンテナンス店またはガス事業者にご連絡ください。

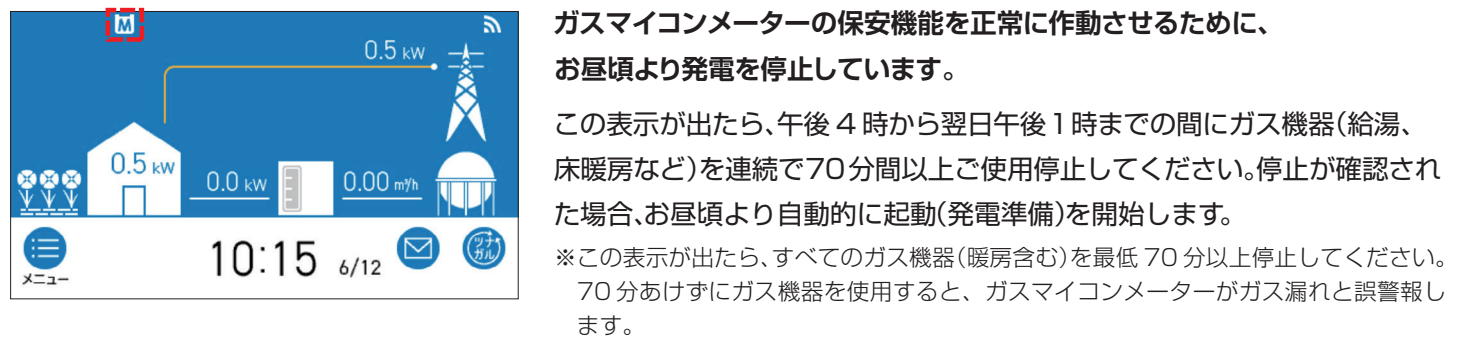
リモコン画面に「発電禁止」と表示されている場合



「発電禁止」操作により発電停止しています。
1～5の順でタッチすることで、発電開始操作が可能です。
※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。

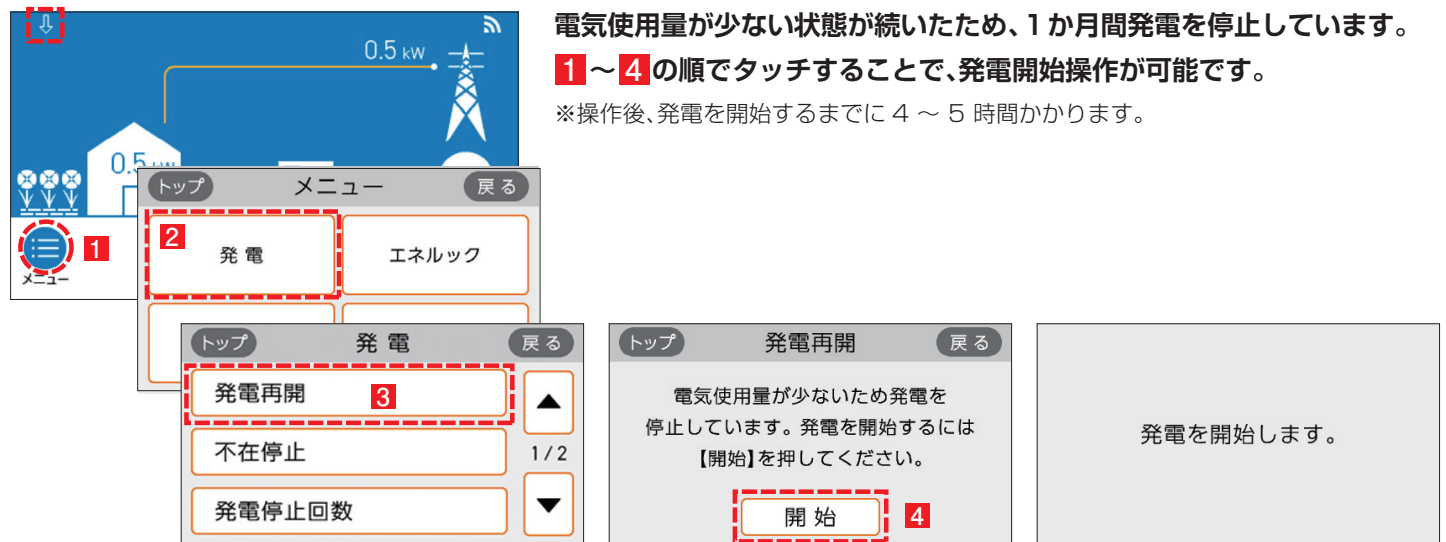
1. メニューアイコンをタッチする。
2. 「発電」ボタンをタッチする。
3. 「発電停止回数」を調整する。
4. 「発電禁止」ボタンをタッチする。
5. 「しない」ボタンをタッチする。

リモコン画面に「M」が表示されている場合



ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるために、お昼頃より発電を停止しています。
この表示が出たら、午後4時から翌日午後1時までの間にガス機器(給湯、床暖房など)を連続で70分以上ご使用停止してください。停止が確認された場合、お昼頃より自動的に起動(発電準備)を開始します。
※この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房含む)を最低70分以上停止してください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報します。

リモコン画面に「↓」が表示されている場合



電気使用量が少ない状態が続いたため、1か月間発電を停止しています。
1～4の順でタッチすることで、発電開始操作が可能です。
※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。



1. メニューアイコンをタッチする。
2. 「発電」ボタンをタッチする。
3. 「発電再開」ボタンをタッチする。
4. 「開始」ボタンをタッチする。

1 発電について

リモコン画面が消え、 が「切」(ランプ消灯)の状態の場合



「不在停止※」により、発電を停止しています。

- 1 リモコンの  を押して「入」にしてください。
発電の開始方法が別途あります。
詳しくはリモコンの取扱説明書(P34)をご確認ください。
- 2 リモコン画面が表示され、燃料電池ユニットが起動(発電準備)を開始します。
リモコンの  を「入」にしても起動が開始されない場合は、他の発電停止要因が考えられます。

※〈不在停止とは〉10日以上リモコンの操作または、給湯栓からお湯(水)の使用がない場合は、自動的に発電を停止します。リモコン操作による「不在停止」設定も可能です。詳しくはリモコンの取扱説明書(P34)をご確認ください。

※操作後、発電を開始するまでに4～5時間かかります。

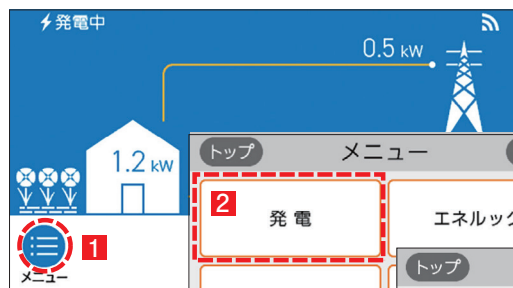
2 発電を停止する

機器の耐久性維持のため、発電停止のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

10日以上外出するなど、しばらく発電を停止したい場合


「不在停止」設定を行ってください。詳しくは燃料電池ユニットの取扱説明書(P44)をご確認ください。

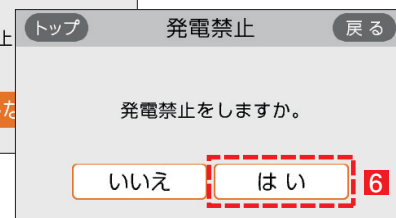
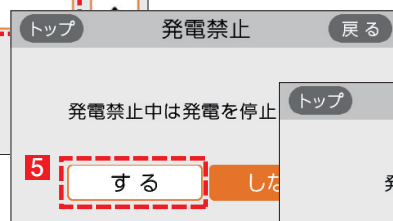
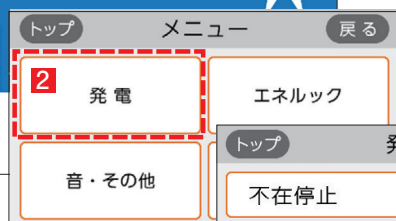
強制的に発電を停止したい場合



1～6の順でタッチして発電を停止させます。

※発電が停止するまでに、3～5時間かかります。

※「発電状況表示」が   (交互表示) に変わったことを確認してください。



2 停電時自立発電について

停電時のご利用方法は動画でも確認いただけます。
<https://www.aisin.com/jp/product/energy/cogene/enefarm/download>



1 停電時に電気を使う

エネファームtypeS の発電中に停電が発生すると、**最大約 700w** の電気が使用可能です。
停電時専用コンセントに発電電力を供給します。※停電時にエネファームが発電するには、燃料ガスが供給状態にある必要があります。

停電時に電気を使うには



- 1 停電してから約90秒後にリモコン画面が表示します。トップ画面で「自立」の交互表示を確認してください。
- 2 リモコン画面表示後、電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込んで、電化製品をご使用ください。
- 3 リモコンに表示される使用電力(消費電力)が発電電力を超えないよう、こまめに確認してください。

停電時に電気が使えなくなった時には

使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、停電時専用コンセントからの電気の供給が停止します。

1～4の順でタッチして電気の供給を再開させます。



- 1 接続していた電化製品を停電時専用コンセントから取り外してください。
- 2 リモコン画面に「自立用コンセントへの出力が準備できました。使用する電気を減らし「再開」を押してください。」と表示します。
- 3 リモコン画面の「再開」をタッチしてください。
- 4 電化製品の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込んで、電化製品をご使用ください。リモコンに表示される使用電力(消費電力)が発電電力を超えないよう、こまめに確認してください。

2 発電電力を上げる

発電電力が下がっていたら(発電電力を上げたい)



自立・高 ↔ 自立・高 交互表示



使用電力が少ない状態がしばらく続くと発電電力を下げる場合があります。使用電力の大きい電化製品を使用される場合は、以下の手順により発電出力を最大約700Wまで上げることができます。
(機器の状態により出力をあげられない場合は操作できません)

- 1 「自立発電能力」をタッチします。
- 2 「高出力」をタッチします。
- 3 発電状態表示(左上)が「自立・高」に変わります。発電電力が上がったことを確認して、電化製品を停電時専用コンセントに接続してください。

3 自動で停電に備える

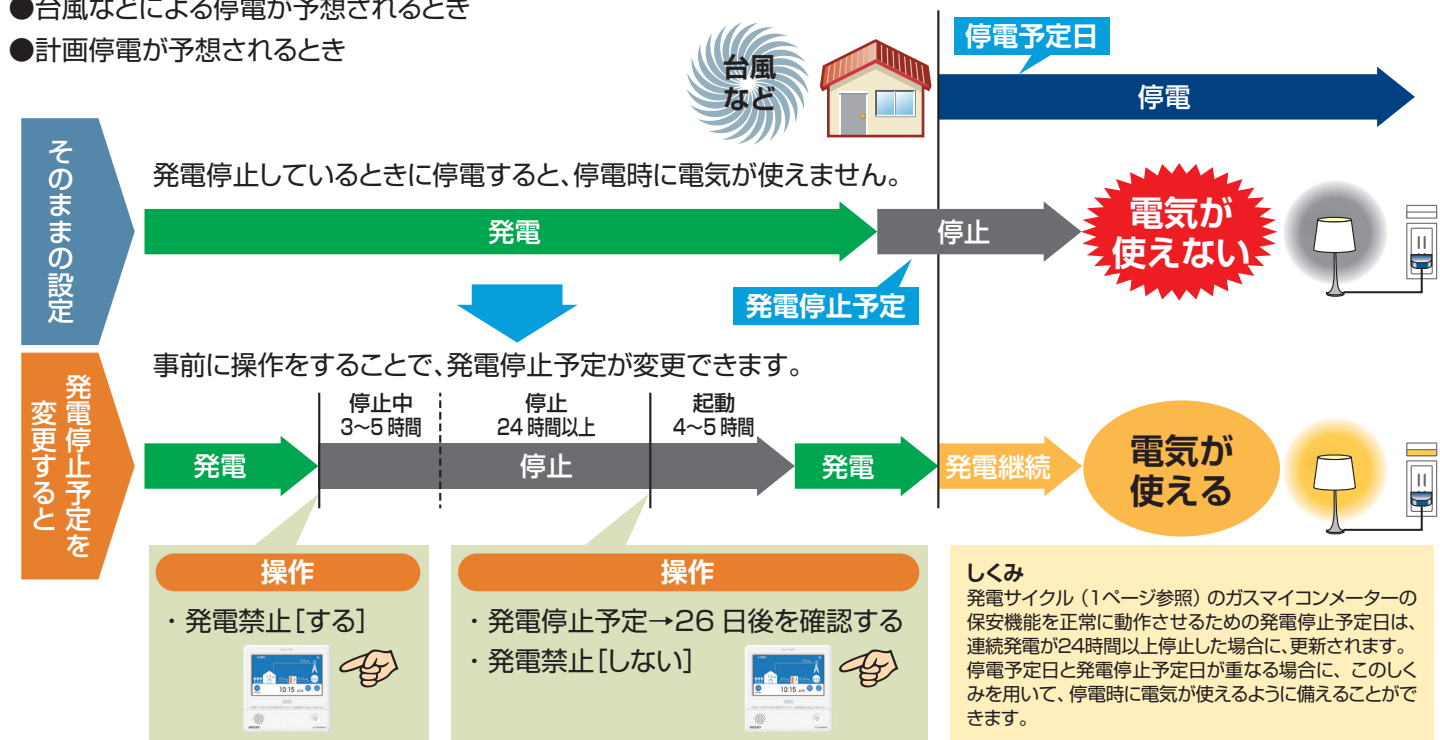
停電時自立発電継続サポートを有効化することで台風による停電が予測される場合に自動で発電停止予定を調整し、自立発電をサポートします。発電停止予定を調整するためには、燃料ガスと系統電力が供給されていること、およびリモコンと無線LANルーターが接続されていることが必要となります。自動で停電に備える方法は本ガイドの10ページを参照してください。インターネット接続とエネファームアプリIIのインストール、停電時自立発電継続サポートへの申込が必要です。

4 手動で停電に備える

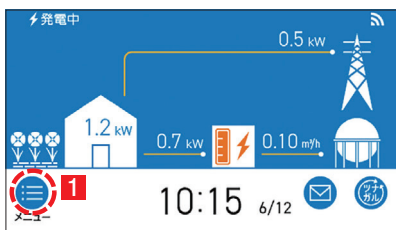
手動で停電に備える場合は停電予定日の2日以上前に以下の確認・作業を行ってください。

次のようなときは発電停止予定を確認し、必要に応じて7ページの発電停止予定を変更するを行ってください。

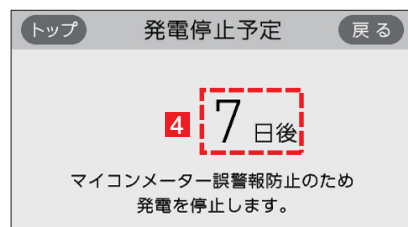
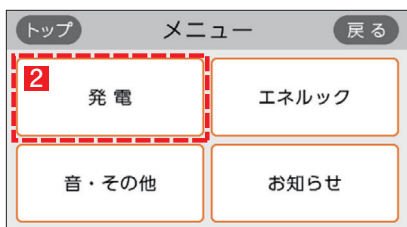
- 台風などによる停電が予想されるとき
- 計画停電が予想されるとき



次の発電停止予定を確認するには

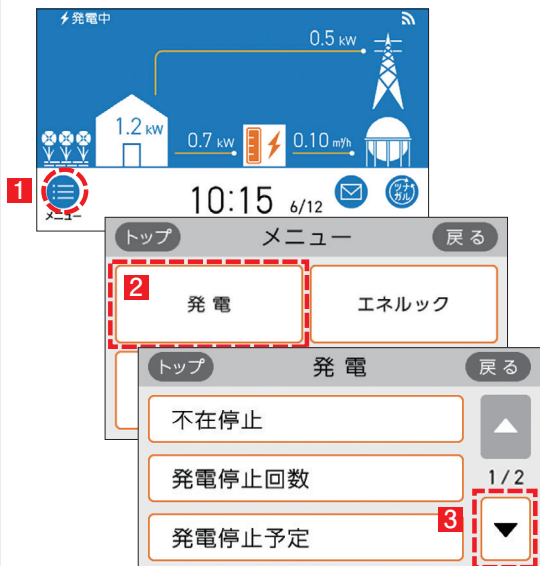


- 1 ~ 3 の順でタッチして「発電停止予定」を表示します。
- 4 表示した日とその後の日が、停電予定日と重なっているかどうか確認します。
例)発電停止予定が「7日後」となっていた場合、7日後、8日後が停電予定日と重なっているかを確認します。
・停電予定日と重なっている場合⇒7ページの操作を行ってください。
・停電予定日と重なっていない場合⇒このままで OK です。



5 発電停止予定を変更する

発電を停止させて発電停止予定を変更するには



1 発電禁止操作を行い、発電を停止します。
※操作後、発電停止までに3～5時間かかります。

1～6の順でタッチして発電を停止します。

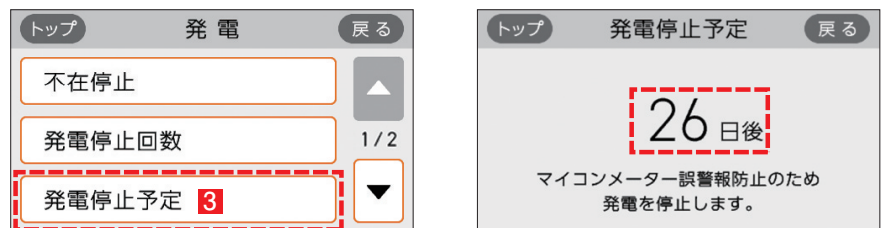
※発電状態表示が「発電禁止」になったことを確認してください。



2 発電停止後24時間以上経過した後、「発電停止予定」が「26日後」になっていることを確認します。

1～3の順でタッチして「発電停止予定」を表示します。

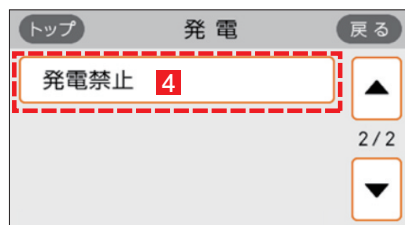
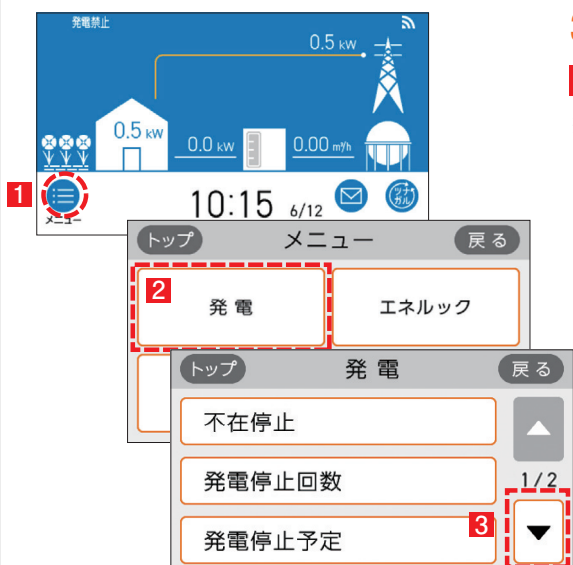
※「26日後」になっていない場合は、しばらく待ってから再度確認してください。



3 発電を再開する。

1～5の順でタッチして発電を再開させます。

※操作後、発電を再開するまでに4～5時間かかります。



3 無線 LAN 機能について

インターネットに接続してできること

ツナガルスイッチ

発電リモコンのスイッチを押すだけで、スマートフォンに PUSH 通知を送ることができます。

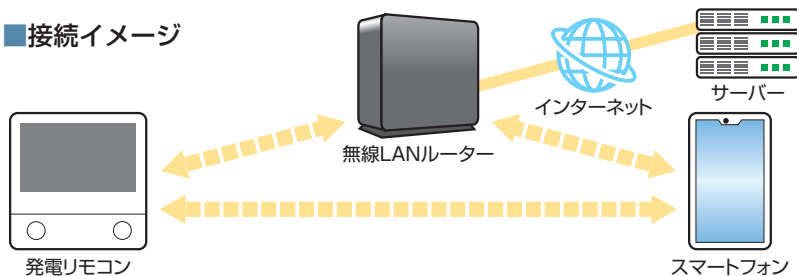
エネルギーの見える化

電気使用量や発電量などエネルギーの状況が外出先でも一目でわかります。

停電時自立発電継続サポート

台風による停電時の備えが自動でできます。

■接続イメージ



エネファーム用アプリは App Store または Google Play から「エネファームアプリ II」をダウンロードしてください。



※ App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービスマークです。
※ Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

無線 LAN 通信についての注意

- ※サービスのご利用には常時接続のインターネット環境と無線 LAN 環境が必要です。(モバイルルーターやテザリング等ではご利用いただけません)
- ※インターネット環境・無線 LAN 環境・スマートフォンはお客さまでご準備ください。
- ※通信規格：IEEE802.11b/g/n、使用周波数：2.4GHz、暗号化方式：WPA2/WPA、DHCP サーバー搭載の無線 LAN ルーターに接続してください。
- ※ご使用のルーター、スマートフォン、通信環境によっては本サービスをご利用できない場合があります。
- ※インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金はお客さまのご負担となります。
- ※自動接続設定用のプッシュボタンがあることをご確認ください。プッシュボタンがない、もしくはわからない場合の接続方法についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

ダウンロードページとアプリの詳細についてはこちら

iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/nef/



1 無線 LAN ルーターに接続する

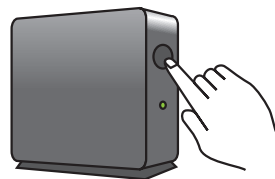
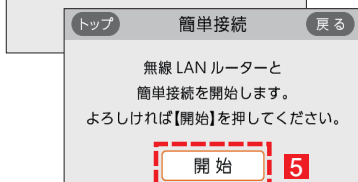
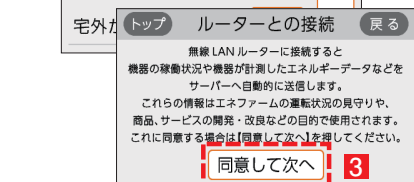
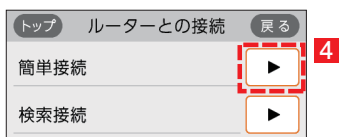
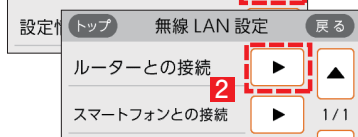
以下の①、②の順に接続を行ってください。

① 発電リモコンと無線 LAN ルーターを接続する (簡単接続)



トップ画面の「メニュー」→「音・その他」→「無線 LAN」→「無線 LAN 設定」→「▶」をタッチしてください。

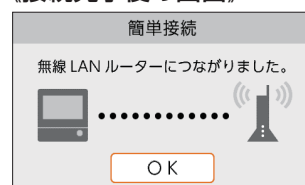
1～5 の順でタッチして接続します。



※自動設定の開始(例)



《接続完了後の画面》

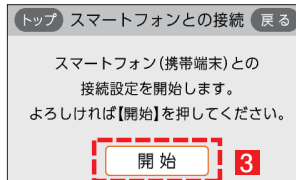


2分以内に、無線 LAN ルーターの自動接続設定用のプッシュボタンを長押ししてください。

② 発電リモコンとスマートフォンを接続する

スマートフォンを発電リモコンと同じルーター・SSID に接続してください。

台所リモコンの操作



トップ画面の「メニュー」→「音・その他」→「無線 LAN」→「無線 LAN 設定」→「▶」をタッチしてください。

1～3の順でタッチして接続します。

3の操作後、スマートフォンを操作します。

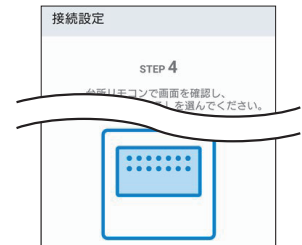
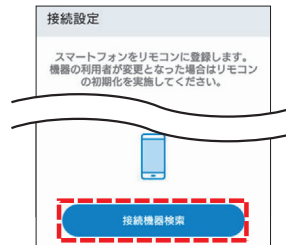
スマートフォンの操作

3分以内に、スマートフォンの“エネファームアプリⅡ”を立ち上げ、アプリの説明に従って操作します。
※初回接続時は2から表示されます。その後、利用規約が表示されます。

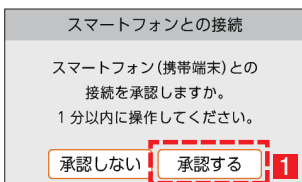
1 メニューバーから「設定」→「リモコン」→「リモコンとの接続」をタップします。

2 STEP3まで操作し、「接続機器探索」をタップします。

3 STEP4の画面が確認できれば発電リモコンを操作します。



発電リモコンの操作



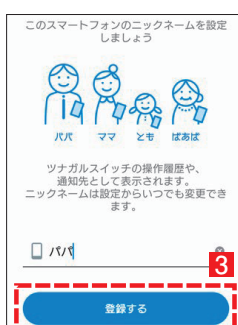
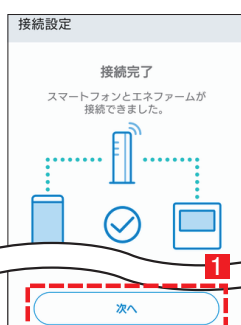
1分以内に操作してください。

1 「承認する」をタッチします。

2 「OK」をタッチします。

「スマートフォン（携帯端末）との接続に失敗しました」のメッセージを表示したときはリモコンの取扱説明書（P25）をご確認ください。

スマートフォンの操作



1 接続完了の画面を確認後、「次へ」をタップします。

2 表示名を入力します。

3 「登録する」をタップします。

4 「スタート」をタップします。

無線 LAN ルーターに接続する操作は以上です。

2 停電時自立発電継続サポートを有効にする

台風による停電が予測される場合に、自動で発電停止日(発電停止予定)を調整し、自立発電をサポートするサービスです。気象予測データを活用して、台風接近と被災の大きさから停電を予測します。

エネファームアプリIIから停電時自立発電継続サポートを申込み(有効にする)ことができます。ホームページ iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/about/resilience.html からもご利用方法を参照できます。



サービス有効化手順

1 エネファームアプリIIを

初めてご利用の方は

アプリ起動時に表示される

本ポップアップから

設定することができます。

ポップアップ画面が出ない場合は、

メニューバーから「設定」

→「停電時自立発電継続サポート」

をタップします。

2 画面表示内容を確認し、

「自立発電継続サポート設定に進む」

をタップします。

3 確認事項にチェックを入れ

「上記に同意して次へ」を

タップします。

4 エネファームの設置場所の

郵便番号を入力し、

「確認」ボタンをタップします。

5 表示された住所を確認し

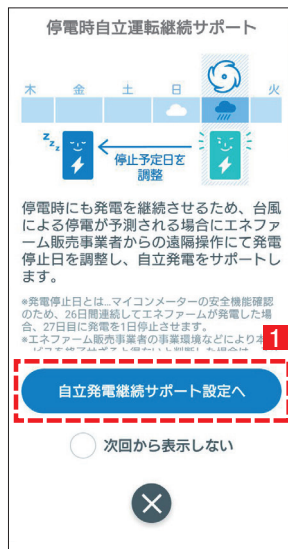
「自立発電継続サポートを

有効化」ボタンを

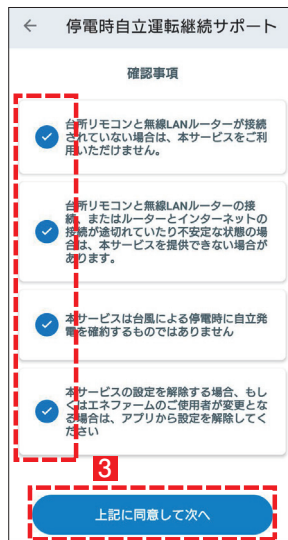
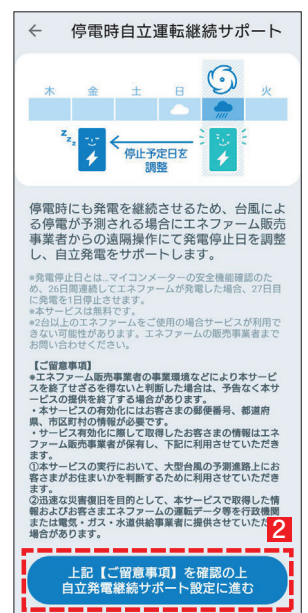
タップします。

6 「完了」をタップします。

《ポップアップ画面から》 《申込み場合》



《設定画面から》 《申込み場合》



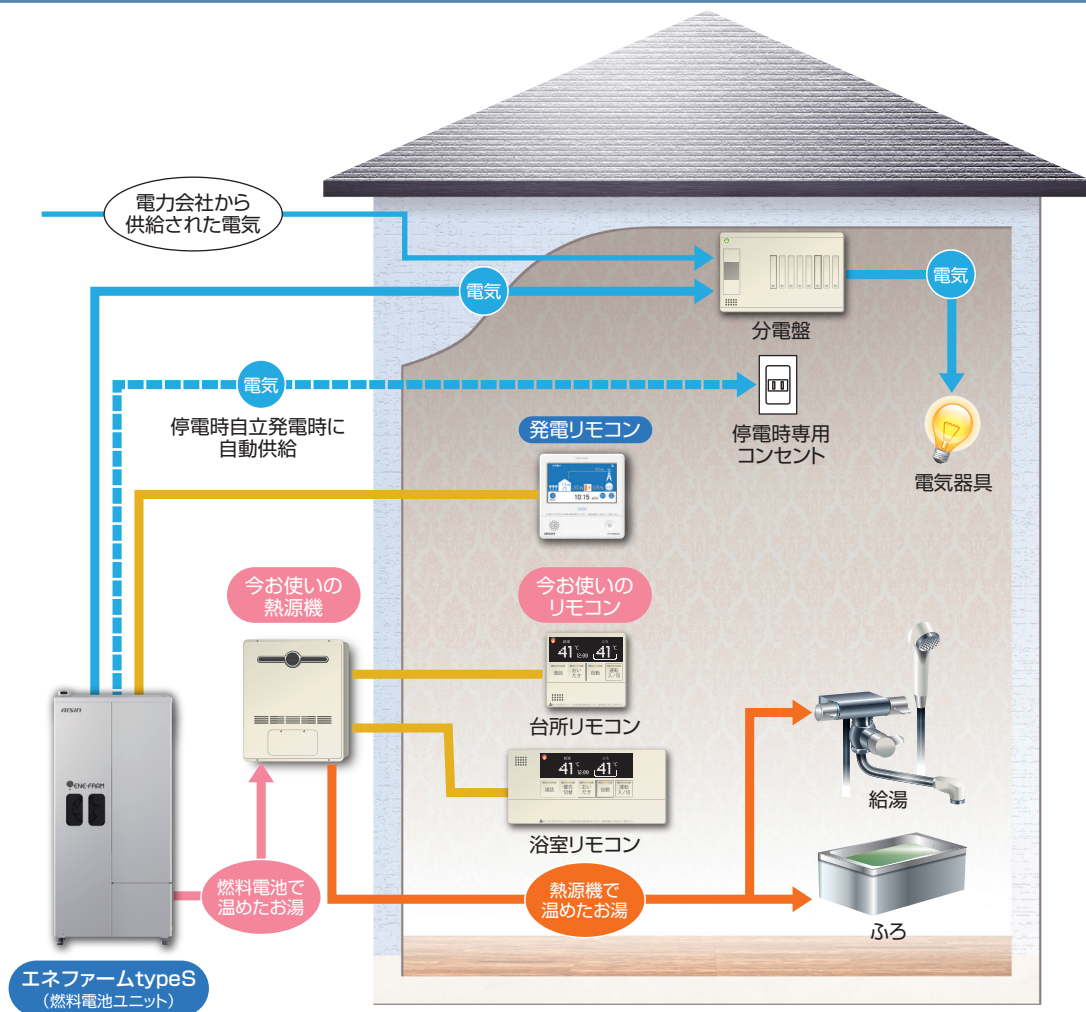
- ※本サービスは無料ですがスマートフォンの通信費はおお客様のご負担となります。
- ※発電停止日を調整するためには、燃料ガスと系統電力が供給されていることが必要です。
- ※停電時にエネファームが発電するには、燃料ガスが供給状態であることが必要です。
- ※本サービスは台風による停電時に自立発電を確約するものではありません。
- ※エネファーム販売事業者の事業環境などにより本サービスを終了せざるを得ないと判断した場合は、予告なく本サービスの提供を終了する場合があります。
- ※2台以上のエネファームをご使用の場合サービスが利用できない可能性があります。エネファームの販売事業者までお問い合わせください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

4 給湯について

システム全体図（例）



＜熱源機を買い替える場合の注意点＞熱源機の種類によっては、燃料電池ユニットに接続できない場合があります。熱源機の買い替えの際は、販売店またはガス事業者にご相談ください。

1 お湯を使う・お風呂を沸かす

●給湯・風呂などの操作は、引き続き既設熱源機のリモコン(台所リモコン、浴室リモコンなど)により操作を行ってください。

＜お湯を使う上での留意事項＞既設熱源機の給湯スイッチ(運転スイッチ)が「切(OFF)」の場合でも、給湯栓を開いた際に、水温より高温の水が出る場合があります。

●発行

AISIN

株式会社 アイシン

エネルギー VC カンパニー E-VC 営業部

●ご用命は